

石仏公園防災施設整備指針（案）

1. 災害時の石仏公園の役割

石仏スポーツ広場は、南側用地と一体的に整備し、石仏公園となります。
ふだんは運動や憩いの場である石仏公園ですが、石仏スポーツ広場と同様に、地震等の災害時には指定緊急避難場所、救助活動拠点候補地、応急仮設住宅の建設場所としての役割を果たします。

- 指定緊急避難場所としての公園は、災害時に一番最初に避難し、身の安全を確保する場所となります。
- 救助活動拠点候補地としての公園は、災害時における消防など応援部隊の活動拠点となります。
- 応急仮設住宅の建設予定地としての公園は、被災者の一時的な居住の安定を図るため、応急仮設住宅を設置する場所となります。



2. 防災としての主な機能

石仏公園として整備することで、石仏スポーツ広場が備えていた防災機能の更なる充実を図ります。

- 芝生広場、遊戯広場（一時的な避難場所として活用）
- 球場、サッカーグラウンド（救助活動の拠点、応急仮設住宅の設置場所として活用）
- 案内板（指定緊急避難場所の周知として活用）
- 防災ベンチ（災害時の炊き出し等として活用）
- 防災パーゴラ（災害時の救護場所等として活用）
- 管理棟（仮）（災害時の救護場所等として活用）
- 太陽光発電装置（災害時の一時的な公園施設の予備電力として活用）
- 太陽電池付照明灯、時計塔（災害時の灯りの確保等として活用）